

スマート農業総合推進事業費(拡充)

| | | | |
|------|----------|------|-----------|
| 予算額 | 49,559千円 | (前年度 | 13,352千円) |
| うち道費 | 23,564千円 | (前年度 | 6,676千円) |

1 事業の目的

農家戸数の減少や農業従事者の高齢化による労働力不足に対応するには、ロボット技術やICTを活用した「スマート農業」の推進が不可欠であることから、幅広い関係者が参画する「北海道スマート農業推進協議体」による情報の共有・発信のほか、技術課題の検討や地域の人材を育成するための実践研修、技術セミナー等の開催により、地域の営農システムへの戦略的な技術導入を推進する。

併せて、農業高校生等を対象とした技術実習により、将来を担う人材育成を図る。また、国が目標とする農業の担い手のほぼ全てが先端技術を活用した農業を取り組むことができるよう、スマート農業の実証・普及を支援する機能等の強化を図る。

2 事業の内容

(単位：千円)

| 区分 | 事業内容 | 事業実施主体 | 事業実施期間 | 予算額 |
|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|-------------------------------|--------------------|
| 北海道スマート農業推進事業費 ※1 | ○スマート農業に関する研究開発・普及情報や各機関の取組情報等の共有 ○畑作など幅広い分野における先端技術事例調査 ○ICT農作業機実践研修等による人材育成 ○農業高校生等を対象にした先端技術実習の実施 ○シンポジウムの開催及び地域セミナー等の地域活動の支援 | 北海道 | H28年度(2016年度)～ | 11,587 (7,433) |
| スマート農業加速化実証プロジェクト事業費 ※2 | ○スマート実証農場の整備・実証を行うコンソーシアムの活動を支援 | 北海道 | R1年度(2019年度)～ R2年度(2020年度) | 4,000 (0) |
| 営農体系確立支援事業費 ※2 | ○先端技術を組み入れた新たな営農技術体系等の検討・検証を行う協議会への支援 | 生産者等により構成する協議会 | R1年度(2019年度)～ R3年度(2021年度) | 8,000 (0) |
| スマート農業普及人材研修費 ※2 | ○国内の先端技術調査研究 ○普及指導員等を対象とした先端技術の実践研修への支援 ○農業大学の学生が修得する先端技術に係る研修教育の機能強化 | 北海道 | R1年度(2019年度)～ R2年度(2020年度) | 6,072 (6,072) |
| ICT活用牧草生産実証事業費 ※1 | ○酪農分野における先端技術を活用した牧草生産技術の実証 | 北海道 | R1年度(2019年度) | 19,900 (10,059) |
| 合計 | | | | 49,559 (23,564) |

※1 「北海道スマート農業推進事業」及び「ICT活用牧草生産実証事業」は地方創生対策推進費で計上

※2 「スマート農業加速化実証プロジェクト事業」「営農体系確立支援事業」「スマート農業普及人材研修」は普及活動推進事業費で計上

担当：農政部生産振興局技術普及課 (内線 27-806)
農産振興課 (内線 27-705)
畜産振興課 (内線 27-757)
農業経営局農業経営課 (内線 27-356)